



岐阜県内の河川水難事故の傾向の分析

～「3つのターゲット」と対策の方向性～



河川水難事故防止ミナモ

令和8年7月
岐阜県 県土整備部 河川課

事故の傾向に基づく「3つのターゲット」と対策の方向性

- ① 県内外のレジャー客 P.2
- ② 外国人 P.3
- ③ 高齢の釣り人 P.4

モデル地区の選定

- ① 長良川的美濃橋地区、② 板取川の薬師前橋地区 P.5

(参考1) 都道府県別の水難事故件数 P.6

(参考2) 水難事故が多発している主な河川 P.7

事故の傾向に基づく「3つのターゲット」と対策の方向性



P.2

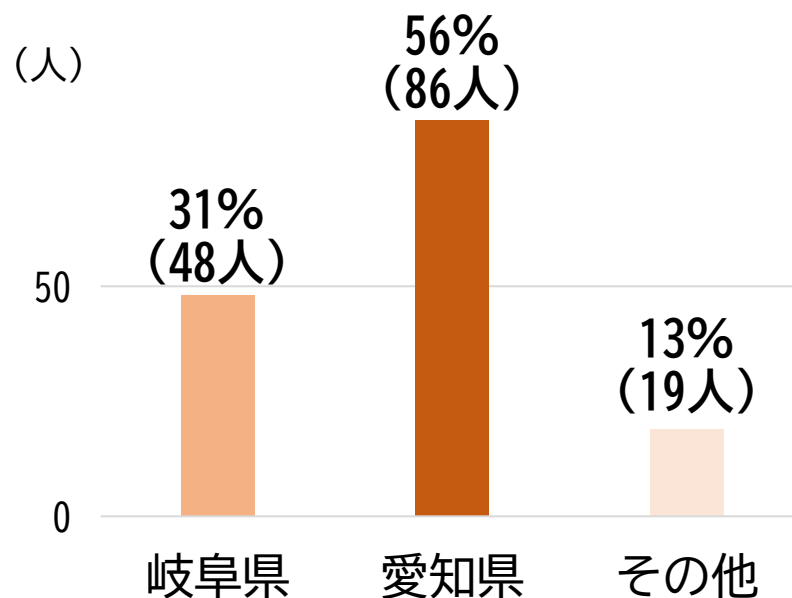
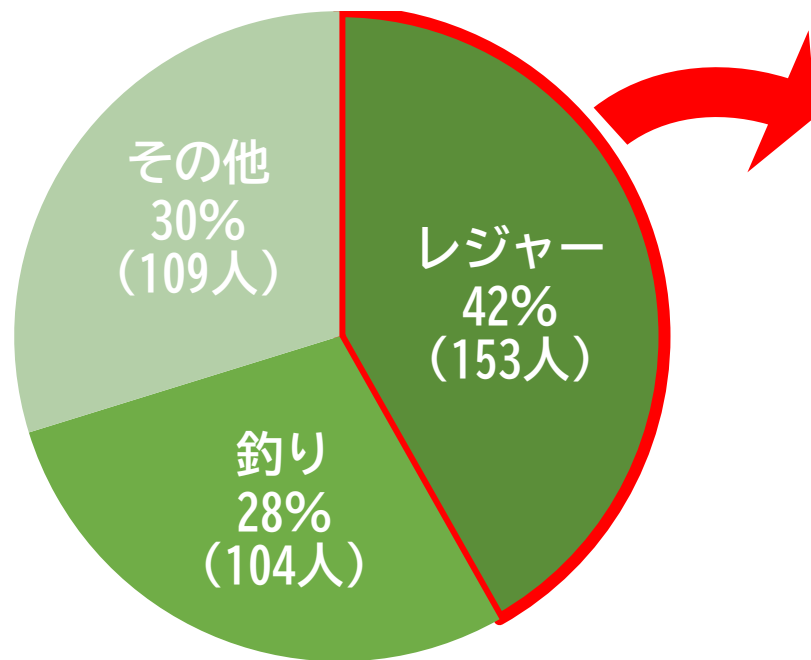
① 県内外のレジャー客

○利用形態別の水難者数では、レジャーがトップで42%を占める

○レジャー客の水難者の居住地は、愛知県が56%、次いで岐阜県が31%である

■利用形態別の水難者数（過去7年間）

■レジャーでの水難者の居住地別 内訳



令和元年～令和7年水難事故調書（岐阜県警提供）を元に河川課作成

【対策の方向性】

現地でのライフジャケット貸出、高水位時（雨上がり等）のSNSによる注意喚起 等

事故の傾向に基づく「3つのターゲット」と対策の方向性

② 外国人

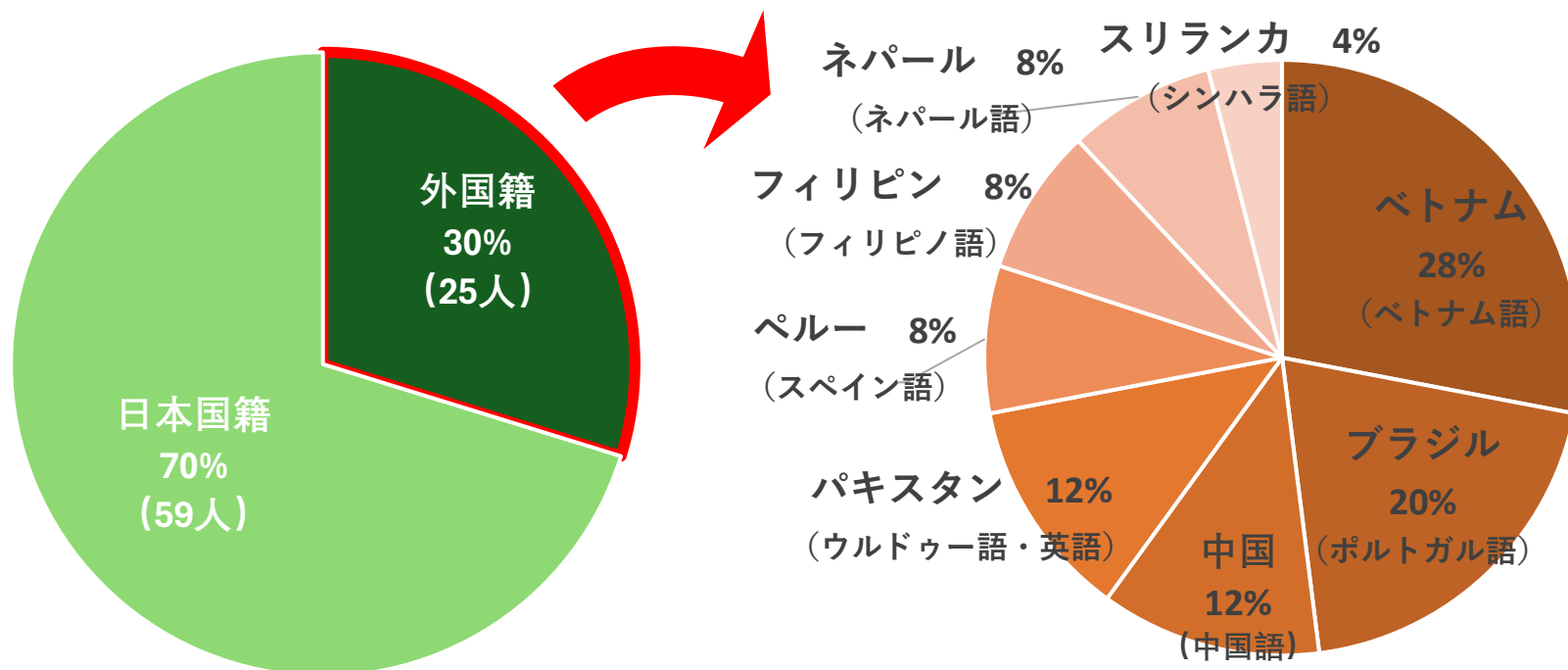


P.3

- 国籍別の水難者数（河川水難事故の多い9地区）では、外国籍の人数が30%を占める
- 水難者の国籍（日本除く）は、多い順にベトナム、ブラジル、中国・パキスタンである

■国籍別の水難者数（過去7年間）

■水難者の国籍（日本除く）内訳



令和元年～令和7年水難事故調書（岐阜県警提供）を元に河川課作成

【対策の方向性】

領事館、国際交流機関、外国人を雇用する企業、学校法人等と連携した啓発 等

事故の傾向に基づく「3つのターゲット」と対策の方向性

③ 高齢の釣り人



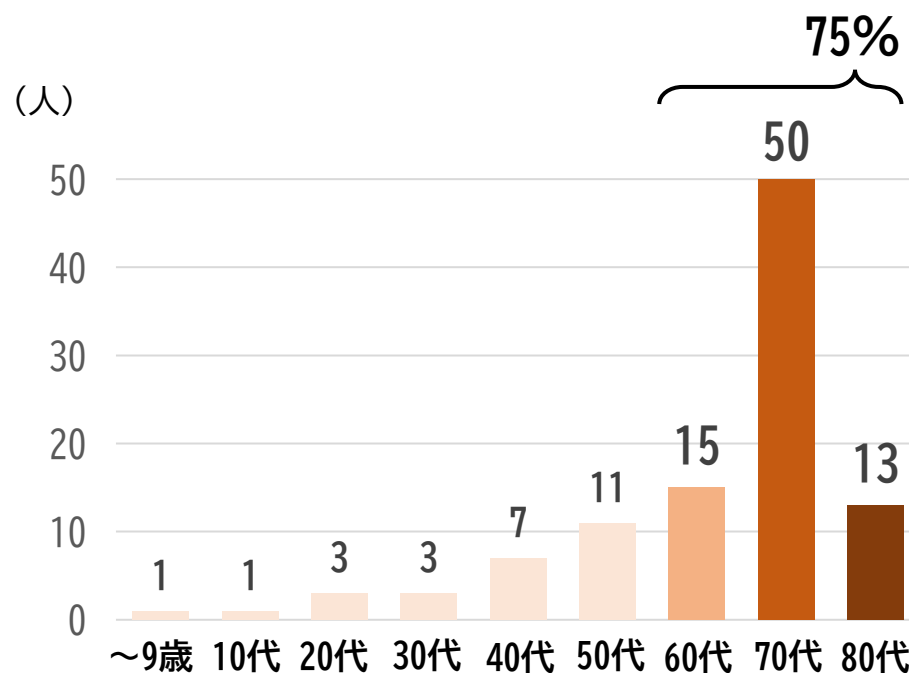
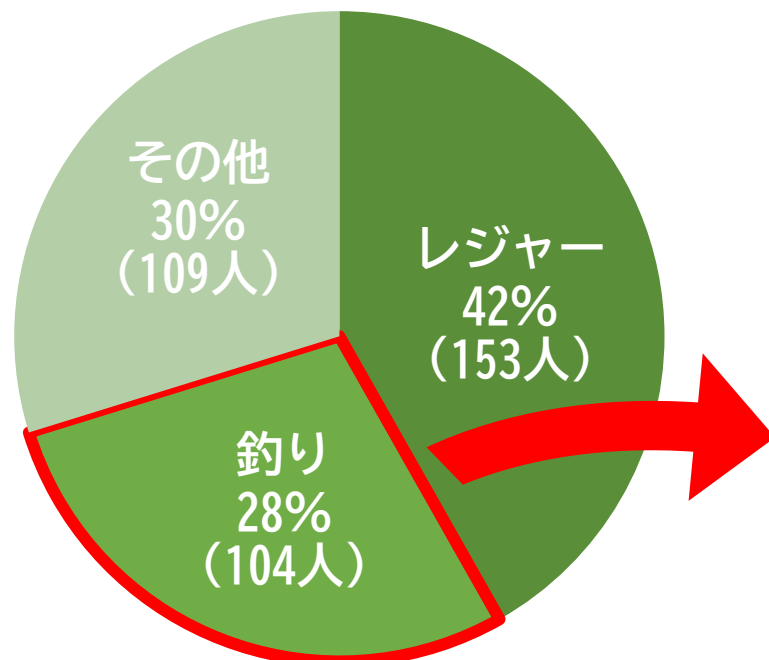
P.4

○利用形態別の水難者数では、釣り※が28%を占める ※釣りには魚とりを含む、以降同じ

○釣りでの水難者の年代別内訳は、60歳以上が75%を占める

■利用形態別の水難者数（過去7年間）

■釣りでの水難者数の年代別内訳



令和元年～令和7年水難事故調書（岐阜県警提供）を元に河川課作成

【対策の方向性】

アウトドアショップ、釣具店、漁業協同組合等と連携したライフジャケット着用の促進 等

モデル地区の選定

① 長良川的美濃橋地区、② 板取川の薬師前橋地区



P.5

○現地での対策の実施にあたり、事故件数の多い地区から
本川で最も多い ①長良川的美濃橋地区（美濃市前野地先）
支川で最も多い ②板取川の薬師前橋地区（関市洞戸小坂地先）
をモデル地区に選定し、先行的に地元の方々や関係機関と連携した対策を進めていきます

表 県内の主な河川水難事故発生9地区

順位	河川名	市町村名	地区	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年	累計
1	長良川	美濃市	美濃橋付近	0	3	0	2	2	4	1	12
	長良川	関市	鮎之瀬橋、 鮎之瀬大橋付近	0	3	0	5	2	2	0	12
3	板取川	関市	薬師前橋付近	2	1	0	4	0	0	4	11
4	付知川	中津川市	アオミキャンプ場、 宮島キャンプ場付近	0	0	5	0	1	0	4	10
	長良川	岐阜市	長良橋付近	0	2	0	2	4	2	0	10
6	長良川	郡上市	新美並橋付近	1	0	2	1	3	0	2	9
7	長良川	岐阜市	千鳥橋付近	1	0	0	5	2	0	0	8
8	板取川	関市	高賀橋付近	1	1	0	1	3	0	0	6
	板取川	美濃市	長瀬橋付近	0	2	0	2	0	2	0	6

（参考1）都道府県別の水難事故件数※

※河川に限らない、以降同じ

○岐阜県は海が無い内陸県にも関わらず、都道府県別の水難事故件数はワースト第4位

○海が無い内陸県別の水難事故発生件数はワースト第1位

表1 都道府県別の水難事故件数・死亡者数

		事故件数	死亡者数
1	沖縄県	358	155
2	東京都	318	205
3	兵庫県	201	94
4	岐阜県	172	85
5	千葉県	155	78
6	長崎県	144	89
7	富山県	134	92

表2 内陸県別の水難事故件数・死亡者数

		事故件数	死亡者数
1	岐阜県	172	85
2	滋賀県	100	30
3	埼玉県	38	17
4	長野県	35	24
5	栃木県	26	18
6	山梨県	24	12
6	群馬県	24	10

(参考2) 水難事故が多発している主な河川

○長良川、木曽川、板取川は、(公財)河川財団の「水難事故が多発している主な河川(2003-2025)」において、それぞれ第2位、第5位、第6位と深刻な状況

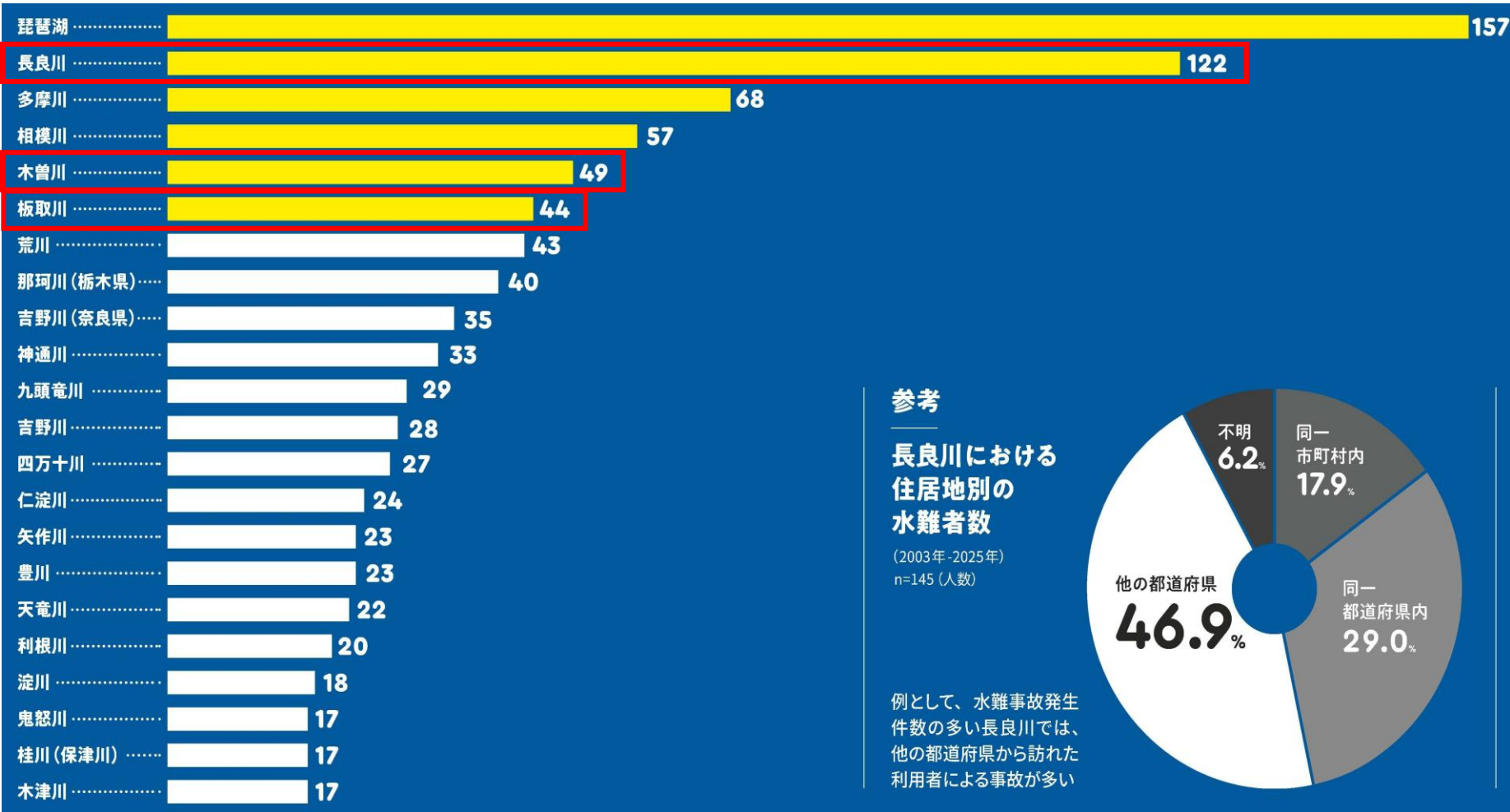


図 水難事故が多発している主な河川 (2003—2025)

(公財) 河川財団ウェブサイト内「水難事故の概要資料」より抜粋・追記